



秋田県よろず支援拠点コーディネーター  
會田 真也 あいたしんや

秋田県大仙市出身。  
BUPJAPAN 代表。  
小売店での勤務後、22歳でEC事業を起業。  
「明日の勇気ある一歩の手助け」を理念に活動中。  
民間では経営戦略コンサルタントとして、様々なジャンルの  
ビジネスを支援。事業者としての活きた経験による包括的な  
経営サポートを得意としている。

## 経営者に大事な姿勢とは

私がEC事業で開業したのは22歳の時でした。身体を壊して前職を辞め、まだ治りきらない中で開業届けを出したのを覚えています。治りきっていない体でお金もなく、専門的な知識がないのにリスクばかりとって、と当初は周囲から言われ続けました。

ビジネスが好調になってきた時に、小売店2社から「売上拡大に向けての包括的な支援」を頼まれました。そこから経営戦略コンサルタントとして沢山の企業様とお付き合いをさせて頂きながら、様々なジャンルのビジネスを支援、分析してきました。

「自身が、勇気を持って踏み出せない若い世代のロールモデルとなり、絶対に諦めずに挑戦し続けることで、夢は叶うことを広めたい。」

そんな思いから、昨年11月には、若い世代が集まる古着屋BUPをオープンしました。コロナ禍にも関わらず売上も好調で、沢山の方々が協力してくれています。若者はまだまだ秋田に失望したくない、希望を持っていると強く感じました。

身体が弱くても、お金が無くても、専門的な知識が無くても、リスクをとることが難しい人でも、小さな1歩を踏み出すことはできる。

ビジネスはそんなに甘いものではないですが決して難しいものではありません。まだまだ道半ばな私ですが、日々様々な成功者とお話している中で、ビジネスにおいて大事だと感じている姿勢を以下に共有させていただきます。

## 満足すること無く変化を楽しむ

現状維持に向かうと、それは事業の停滞を意味します。外出がしにくくなった状況で、人は以前よりも対面に幸福感を求め、変化を楽しんでいく企業が求められてきています。

多くの事業者は安定を求めます。無理な事業展開や危険な場所に進む必要はありませんが、本当に今いる場所が継続的に安定かつ安心なのでしょうか。

常に新しいチャレンジを続け、その変化を楽しむことによって自分の気持ちを新鮮なものにしなが、満足することない向上心を持つ。

その結果、このコロナ禍でも活発に事業を伸ばすことになると確信しています。



## 心のバランスのとり方

変化を楽しんでも、自分の提供しているものに自信がなければ、人をひきつけたり感動させることはできません。自信を持っていても向かう先がわからなければ、利益ばかりと思われ、誰もついてきません。

事業には、3つの大事な心があります。お金を稼ぐこと、道徳的に良いことなのか、自分の価値でどこまで人を幸せにできるか、このバランスが大事です。人が良い経営者も利益主義の経営者も多く見ましたが、大抵はこの心のバランスが崩れた途端にビジネスは崩壊すると感じています。

## 社会的な大義名分を発信

みんなが応援できるような大義名分がある会社は楽しく事業を伸ばしています。これは、私が経営しているお店のお客様から気づかされたことです。

「このお店で買うことでここがもっと良くなり、次来たらもっと楽しい。次はどんな面白いことのために自分のお金が使われるのか楽しみで仕方ない。」

私はずっと、いい物があれば物は売れて、人を大事にすれば事業は成功すると思っていました。しかし、人を大切に、明日の勇気ある一歩の手助けをするという理念を強く発信し始めたところ、ありがたい声が増えたのです。

今一度、自身の会社が社会でどうありたいかを明確にしてください。

## 成功と失敗をデータで考える

事業には沢山のチャレンジが必要だと書きましたが、そこでの成功と失敗とは何でしょうか。私は、データが取れるか取れないかだと思っています。

わからないことに対して結果を得るためのチャレンジは、その結果に関わらずすべて成功に結び付けることができ、すでにわかっていることを試してうまくいくことよりも、ずっと価値があります。ビジネスはどこで成果がでるかわかりにくい側面があるため、予測できない可能性をひとつずつ検証していくことはとても有益です。

データと結果が得られたことだけで、そのチャレンジは成功なのです。

## 分析を生かす

データを取った後にするのが分析です。

良いデータも悪いデータもそれ自体に一喜一憂せず、大事なのは、なぜこの結果なのかという仮説を立て、反省と気づきをもとに素早く行動を起こすことです。その気づきのセンスを磨くには数をこなすしかありません。

週に一度は定期的なSNSのインサイトの確認や売上分析でセンスを磨いていきましょう。一口に分析と言っても難しいと感じたら、私と一緒に、よろず支援拠点で経営分析をしてみませんか？



## 最後に

みなさんには何が何でも達成したい目標はありますか？

ビジネスをしていると、動かすお金や人が多くなるなど、凄いことをしているように感じることもある一方で、世界で困難な状況を変えようと人生をかけてたかっている人を見ると、それに適うほどの目標なんてあるのだろうかという疑問に思うこともあります。

しかし、どの時代も経営者が社会に少なからず影響を与え、世の中を変えてきたことも事実です。いつもと変わらない日常でも、人生をかけている緊張感を持ちながら社会を良くしていきたいと私は考えています。よろず支援拠点でお待ちしております。